

梅ヶ島温泉郷
国民保養温泉地計画書

平成 29 年 5 月

環 境 省

(目次)

1. 温泉地の概要
2. 計画の基本方針
3. 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策
4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方法等
5. 温泉資源の保護に関する取組方針
6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策
7. 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策
8. 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画
9. 災害防止対策に係る計画及び措置

添付

1. 国民保養温泉地位置図
2. 国民保養温泉地区域図

1. 温泉地の概要

本温泉地計画の地域は、静岡市内で源流から河口までが完結している一級河川安倍川の最上流域の旧安倍郡梅ヶ島村の区域であり、梅ヶ島温泉、梅ヶ島新田温泉、コンヤ温泉、金山温泉からなる別添図面に表示する区域とし、その面積は約 92.82 k m²である。



安倍峠から富士山を望む

梅ヶ島温泉郷は、静岡市北部に位置し、日本屈指の清流を誇る安倍川の源流から上流域に沿った「梅ヶ島温泉」、「梅ヶ島新田温泉」、「梅ヶ島金山温泉」、「コンヤ温泉」の総称であり、2,000m級の雄大な山々に囲まれた静寂な自然環境の中にある。

梅ヶ島温泉郷が属する旧安倍郡梅ヶ島村は、昭和 44 年 1 月 1 日に静岡市へ編入合併し、平成 17 年 4 月 1 日に静岡市が政令指定都市に移行すると、旧村域は葵区の一部となっている。

梅ヶ島温泉の歴史は古く、「信玄公の隠し湯」として合戦で傷ついた侍の療養所の役割を担うなど、古くから湯治場として栄えてきた。

梅ヶ島温泉郷の区域は、安倍川最上流域の河川区域北端、山梨県境と重なり、八紘嶺(はっこうれい)、大谷嶺、山伏(やんぶし)、安倍峠、十枚山などの 2,000m級の山々が連なる稜線が、「奥大井県立自然公園」に指定され、緑豊かな優れた自然環境が保全されている。

また、この地域は、全般に急峻で谷が深く、山地の崩壊も多い。中でも大谷嶺の南斜面は、日本三大崩れの一つである「大谷崩れ」と呼ばれ、ダイナミックで荒々しい特有の自然景観を有している。

山深い山地は、スギ等の針葉樹林とシデ等の落葉樹林で構成され、ブナ・ミズナラの原生林やカエデ類の樹林が分布し、「安倍の大滝」、「赤水の滝」などの「梅ヶ島七滝」とともに変化に富んだ溪谷美を形成している。

梅ヶ島地区の主産業の林業を支える森林は、70 万静岡市民の飲料水の水源域であるため、水源涵養機能や山地災害防止機能を維持しながら、森林施業を進め、木材等の生産を行っている。

農業は、梅ヶ島地区の自然環境を活かし、お茶、ワサビ、しいたけが特産品となっており、内水面漁業も盛んで、鮎、山女魚等の川魚は名物として提供されている。

安倍川最上流域に位置する山深い梅ヶ島温泉郷は、古くは峠を越えた山梨方面との交流が盛んであったが、「県道 29 号梅ヶ島温泉昭和線」が整備され、現在まで改良が進められると、新幹線駅である J R 静岡駅から、梅ヶ島温泉郷の玄関口である「コンヤ温泉」まで、車で約 1 時間での往来が可能となった。

さらに、平成 24 年 4 月に新東名高速道路が静岡県内区間で開通し、静岡市市街地北部の下地区に新静岡インターチェンジが開設されると、梅ヶ島温泉郷は、山紫水明の地

でありながら、国土高速幹線道路から車で 40 分足らずで到達できる交通至便の温泉郷となった。

2. 計画の基本方針

静岡市北部、安倍川の最上流域に位置する梅ヶ島温泉は、「信玄の隠し湯」と呼ばれるなど、古くから湯治場として栄えてきた。

昭和 44 年に、旧安倍郡梅ヶ島村が静岡市へ編入合併されると、静岡市の奥座敷として、市営温泉浴場やテニスコート、キャンプ場、ハイキングコース等が整備され、新緑や紅葉等が美しい森林や、変化に富んだ溪谷、日本屈指の清流といった豊かな自然環境の中で、現在も観光、保養、休養、健康増進等を目的とした宿泊客等が訪れている。

梅ヶ島温泉郷は、本温泉地計画に基づき、周辺の自然と調和しつつ地域の歴史と文化を活用し、観光、保養・休養を中心とした健康増進及び生涯学習の場として、来訪者にとってより魅力のある短期から中期の滞在型温泉郷を目指していくこととする。

- (1) 梅ヶ島温泉郷とその周辺の豊かな自然環境を保全するとともに、これらを活用した事業を行う。
- (2) 梅ヶ島温泉郷の閑静な温泉街を保全し、山紫水明の地としての風情ある雰囲気醸成していく事業を行う。
- (3) 梅ヶ島温泉郷とその周辺の歴史・風土・文化を継承するとともに、これらを活用した事業を行う。
- (4) 健康・長寿をキーワードとした取り組みを充実させ、医療機関をはじめとする様々な関係者との連携により、来訪者の満足度向上を目指した事業を行う。

本計画は、温泉郷づくりの方向性を示すものであり、梅ヶ島温泉郷の地域全体で取り組む指針として作成するものである。



大谷崩れ



安倍の大滝

3. 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策

(1) 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の概要

梅ヶ島温泉郷は、安倍川の最上流域に位置し、周囲を八紘嶺、大谷嶺、山伏、安倍峠、十枚山などの2,000m級の山々に囲まれ、緑豊かな優れた自然環境が保全されている山深い温泉郷である。

全般に急峻で谷が深く、山地の崩壊も多い。大谷嶺の南斜面は、日本三大崩れの一つである「大谷崩れ」であり、ダイナミックで荒々しい特有の自然景観を有している。

梅ヶ島温泉の歴史は古く、戦国時代、梅ヶ島金山を巡って、今川氏と武田氏が安倍峠を挟んで、長く勢力争いが行われ、武田支配後は、「信玄公の隠し湯」として合戦で傷ついた侍の療養所の役割を担うなど、古くから湯治場として栄え、第二次世界大戦時には、帝国陸軍病院の分院として接収され、傷病兵の湯治に使われた。

湯治客の記録等から、梅ヶ島温泉には、徳川家康公や秀忠公、勝海舟、清水次郎長、山岡鉄舟、乃木希典等が訪れたといわれている。

昭和の世には、歌人の吉井勇が長期逗留し「梅ヶ島遊草」を詠み、脚本家の茂木草介がNHK大河ドラマ「太閤記」を書き上げるなど、文人達に好まれる静寂の湯治温泉地となった。

四季折々の暮らしの中で、人々は、自然の恵みへの感謝と、無病息災を祈念して、神楽や盆踊りといった郷土芸能を生み出し今日まで伝え続けており、安倍川・大井川流域で受け継がれている駿河神楽の一つである「梅ヶ島新田神楽」は、「梅ヶ島の舞」の名称で、市の指定無形伝統文化財として指定されている。

(2) 取組の現状

梅ヶ島温泉郷を囲む八紘嶺、大谷嶺、山伏、安倍峠、十枚山などの2,000m級の山々が連なる稜線は、「静岡県立自然公園条例」に基づき、昭和43年4月に「奥大井県立自然公園」に指定され、緑豊かな優れた自然環境が保全されている。

また、梅ヶ島温泉郷におけるレクリエーション施設の整備については、昭和44年に、旧安倍郡梅ヶ島村が静岡市へ編入合併されると本格化し、昭和45年に梅ヶ島温泉に開設した市営浴場は、平成11年4月に梅ヶ島新田温泉に移転し、日帰り温泉「静岡市梅ヶ島新田温泉浴場（通称：黄金（こがね）の湯）」、お食事処・地場産品販売「黄金の里」や、グラウンドゴルフ場等が整備されている。

梅ヶ島温泉の市営浴場跡は、「おゆのふるさと公園」として整備され、源泉洞窟や湯之神社、温泉湯滝等を散策し、展望デッキからは、梅ヶ島温泉街も一望できる。

コンヤ温泉には、テニスコートや梅園及び桜公園がある「梅ヶ島コンヤの里レクリエーション施設」や「梅ヶ島キャンプ場」が整備されている。

梅ヶ島金山温泉は、民間事業者が、テニスコート、スポーツ広場、ゴルフガーデンなどの各種スポーツ施設を併設した独自の温泉源を有する多目的温泉施設を整備し、「自然の中で、思い思いのリゾートライフ」を提案している。

隣接する梅ヶ島・日影沢には、山女魚を釣る・触る・食べることを体験できる日影沢親水園「魚魚の里（ととのさと）」が整備されている。

また、平成18年3月に、安倍川に代表される清流を次世代へ継承していくため、「静岡市清流条例」を制定し、梅ヶ島温泉郷を含む安倍川上流域を「水源保全区域」として定め、市民、事業者、市の三者の協働による清流保全に努めている。

(3) 今後の取組方針

自然環境、まちなみ、歴史、風土及び文化の維持保全を図るために、(2)の取組みを継続するとともに、それらに加え、医療機関はもとより、農業、林業、漁業(内水面)や自治会等との連携を強化していくこととする。

そのため、平成28年9月に設立した「梅ヶ島温泉郷の未来を考える会」を中心に、オール梅ヶ島の体制づくりを進め、地域の自然や歴史・文化等に親しみながら、地域の自然の特色を活かしたスポーツ環境の整備や、地域の食材を活かした健康食を開発するなど、来訪者の元気回復、健康の保持増進に向けて運動、温泉、食が三位一体となったヘルスツーリズムを推進する。

4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方法等

(1) 医師または人材の配置の状況

梅ヶ島温泉郷では、医学的立場から健康管理についての指導や、入浴客の体調不良に対応する医師を配置しており、その氏名及び活動の状況等は、以下のとおりである。

なお、梅ヶ島温泉郷では、同医師との連携のもと入浴方法等の指導を行う人材を配置していないが、今後、(2)に記載する配置・育成に取り組む。

①医師

氏名	専門分野	活動内容	配置年度
梅ヶ島診療所 瀧浪 慎介	内科、リウマチ科、アレルギー科	静岡市梅ヶ島診療所において、入浴客の体調不良等に対応。	H28

(2) 配置計画又は育成方針等

梅ヶ島温泉郷では、(1)の医師の配置を継続しつつ、適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師との連携体制を構築する。また、梅ヶ島温泉郷全体で温泉入浴指導員の配置を推進し、各施設において健康増進及び疫病予防対策など入浴方法等の指導を行う人材を育成していく。

5. 温泉資源の保護に関する取組方針

(1) 温泉資源の状況

梅ヶ島温泉郷における温泉資源の状況は、以下のとおりである。

①梅ヶ島温泉

泉質は単純硫黄温泉であり、12 の源泉を集約し、旅館、公衆浴場に利用されている。

源泉	温度 (°C)	湧出量 (L/min)	泉質	湧出状況	所有者	利用施設
梅ヶ島1号 金の湯	38.2 (H27.11 計測)	186.5 (H27.11計 測)	単純硫黄 温泉	掘削自噴	静岡市	旅館 11施設 公衆浴場 1施設
梅ヶ島2号 黄金の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島3号 長寿の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島4号 虹の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島5号 梅の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島6号 椿の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島7号 百合の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島8号 つつじの湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島9号 銀の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島10号 珠の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島11号 紅葉の湯				自然湧出	静岡市	
梅ヶ島12号 山吹の湯				自然湧出	静岡市	

②梅ヶ島新田温泉

泉質はナトリウム-炭酸水素塩温泉であり、旅館、公衆浴場に利用されている。

源泉	温度 (°C)	湧出量 (L/min)	泉質	湧出状況	所有者	利用施設
梅ヶ島新 田2号	31.0 (H27.11 計測)	124.2 (H27.11計 測)	ナトリウ ム-炭酸 水素塩温 泉	動力揚湯	静岡市	旅館 1施設 公衆浴場 1施設

③梅ヶ島金山温泉

泉質はナトリウム－炭酸水素塩温泉であり、旅館（貸別荘）に利用されている。

源泉	温度 (℃)	湧出量 (L/min)	泉質	湧出状況	所有者	利用施設
梅ヶ島新田1号	32.8	37.0	ナトリウム－炭酸水素塩温泉	動力揚湯	梅ヶ島観光開発株式会社	旅館（貸別荘） 1施設

④梅ヶ島コンヤ温泉

泉質は単純硫黄泉であり、旅館等に利用されている。

源泉	温度 (℃)	湧出量 (L/min)	泉質	湧出状況	所有者	利用施設
梅ヶ島コンヤ2号	30.8	165.0	単純硫黄泉	動力揚湯	静岡市	旅館 3施設

(2) 取組の現状

梅ヶ島温泉郷における各源泉について、現在講じているその保護に関する取組の状況は、以下のとおりである。

源泉	取組み	実施主体
梅ヶ島温泉郷全域	<ul style="list-style-type: none"> ・源泉の調査（温度・揚湯（湧出）量・動力装置の状況）を年1回実施 ・ガスセパレーターの点検を年1回実施 ・源泉タンクの清掃・消毒・殺菌を年1回実施 	源泉所有者

(3) 今後の取組方策

梅ヶ島温泉郷において、温泉資源の保護を一層推進するため、実施主体と調整の上、(2)の取組を継続するとともに、それらに加え、以下の取組を進める。

源泉	取組み	実施主体	実施予定年度
梅ヶ島温泉郷全域	梅ヶ島温泉は自然湧出、梅ヶ島新田温泉、梅ヶ島金山温泉及びコンヤ温泉は動力揚湯で湧出方法は異なるが、いずれの源泉においても温泉の湧出状況の把握に努めていく。	源泉所有者	H29～

6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策

(1) 温泉の利用に当たっての関係設備等の状況

梅ヶ島温泉郷において温泉の利用に当たって使用している設備及び温泉利用の状況は、以下のとおりである。なお、梅ヶ島温泉郷では、温泉は浴用利用のみとなっている。

温泉地	源泉数	浴用利用施設までの設備	浴用利用施設数
梅ヶ島温泉	12	引湯管、貯湯槽、紫外線殺菌装置及びガスセパレーター	12 施設
梅ヶ島新田温泉	1	引湯管、貯湯槽、ガスセパレーター	2 施設
梅ヶ島金山温泉	1	引湯管、貯湯槽	1 施設
コンヤ温泉	1	引湯管、貯湯槽	3 施設

(2) 取組の現状

梅ヶ島温泉郷において温泉の利用に当たって使用している設備について、現在講じている衛生面での取組の状況は、以下のとおりである。

なお、静岡市では、浴槽水のモノクロラミン消毒を梅ヶ島新田温泉の実証実験の結果を基に、全国で初めて条例で認め、現在も梅ヶ島新田温泉の市営公衆浴場 1 施設においてモノクロラミンによる浴槽水の消毒を行っている。

設備	区分	取組	実施主体
源泉	温泉法	・源泉について、温泉分析調査を 10 年に 1 回実施	源泉所有者
	自主的	・水質検査（6 項目）を年 1 回実施	静岡市
引湯管	自主的	引湯管の点検、清掃・消毒を必要に応じて実施	源泉所有者
貯湯槽	静岡市旅館業法等施行条例、静岡市公衆浴場法施行条例等	貯湯槽及び分湯槽の清掃及び消毒を 1 年に 1 回以上実施	宿泊施設事業者及び公衆浴場事業者
浴槽	静岡市旅館業法等施行条例、静岡市公衆浴場法施行条例等	【循環式浴槽】 ・原湯原水の水質検査（6 項目）を 1 年に 1 回以上実施 ・浴槽水の消毒を実施 ・浴槽水の水質検査（4 項目）を 1 年に 2 回以上実施 ・気泡発生装置等を使用する場合、2 箇月に 1 回以上レジオネラ属菌の水質検査を実施 ・浴槽は 1 週間に 1 回以上完全換水及び清掃を実施 ・ろ過器は 1 週間に 1 回以上逆洗浄等による清掃及び消毒を実施 ・気泡発生装置等を使用する場合、洗浄及び消毒を 1 日に 1 回以上実施	宿泊施設事業者及び公衆浴場事業者

		<ul style="list-style-type: none"> ・集毛器の清掃及び消毒を毎日実施 【非循環式浴槽】 ・原湯原水の水質検査（6項目）を1年に1回以上実施 ・浴槽水の水質検査（4項目）を1年に1回以上実施 ・浴槽は毎日完全換水と清掃を実施 	
配管等設備	静岡県旅館業法等施行条例、静岡県公衆浴場法施行条例等	<ul style="list-style-type: none"> ・1週間に1回以上消毒を実施 ・1年に1回以上、生物膜の状況を監視し、必要に応じて消毒を実施 	宿泊施設事業者及び公衆浴場事業者
設備周辺	自主的	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日清掃を行い、清潔に保つ 	宿泊施設事業者及び公衆浴場事業者

(3) 今後の取組方策

梅ヶ島温泉郷において、さらに温泉を衛生的に良好に保つため、実施主体と調整の上、(2)の取組を継続するとともに、これらに加え、温泉関係者の温泉に関する衛生面の講習会等の受講を推進し、さらなる衛生管理の意識向上を図る取組を進める。

7. 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策

(1) 温泉の公共的利用の状況

近年の梅ヶ島温泉郷における温泉利用の状況は、以下のとおりである。

①過去3年間の温泉の利用者数

(単位:人)

温泉地	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
梅ヶ島温泉	宿泊	13,840	13,253	14,014
	日帰り	2,775	2,372	2,363
梅ヶ島新田温泉	宿泊	672	648	638
	日帰り	56,316	43,863	49,099
梅ヶ島金山温泉	宿泊	785	872	1,398
	日帰り	5,548	5,790	4,496
コンヤ温泉	宿泊	2,703	2,708	3,238
	日帰り	5,867	5,946	6,540
小計	宿泊	18,000	17,481	19,288
	日帰り	70,506	57,971	62,498
合計		88,506	75,452	81,786

②最近1年間(平成27年度)の温泉の利用者数

(単位:人)

温泉地	区分	施設数	総定員	利用者数				
				4月	5月	6月	7月	8月
梅ヶ島温泉	宿泊	10	273	1,197	1,219	936	962	1,672
	日帰り	8	—	146	198	167	164	244
梅ヶ島新田温泉	宿泊	1	17	37	73	53	36	72
	日帰り	2	—	3,091	5,567	2,949	2,998	5,548
梅ヶ島金山温泉	宿泊	1	65	66	185	28	98	415
	日帰り	1	—	547	658	347	639	1,200
コンヤ温泉	宿泊	3	80	178	355	192	199	349
	日帰り	3	—	355	616	455	423	736
小計	宿泊	15	435	1,478	1,832	1,209	1,295	2,508
	日帰り	14	—	4,139	7,039	3,918	4,224	7,728
合計			435	5,617	8,871	5,127	5,519	10,236

利用者数							
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
975	1,018	2,244	862	1,121	759	1,049	14,014
172	257	318	162	218	138	179	2,363
54	8	128	39	52	37	49	638
4,064	4,669	7,973	2,346	3,372	2,736	3,786	49,099
246	131	62	38	69	10	50	1,398
663	309	103	14	5	0	11	4,496
323	341	430	208	232	195	236	3,238
392	531	878	519	553	358	724	6,540
1,598	1,498	2,864	1,147	1,474	1,001	1,384	19,288
5,291	5,766	9,272	3,041	4,148	3,232	4,700	62,498
6,889	7,264	12,136	4,188	5,622	4,233	6,084	81,786

(2) 取組の現状

①施設整備

梅ヶ島温泉郷において、温泉の公共的利用の増進を図るため、現在行っている取組の状況は、以下のとおりである。

温泉地	取組	実施主体
梅ヶ島温泉	「おゆのふるさと公園」を整備	静岡市
梅ヶ島新田温泉	日帰り温泉施設「黄金の湯」、食事・土産販売施設「黄金の里」、グラウンドゴルフ場、公衆トイレを整備	静岡市
梅ヶ島コンヤ温泉	「梅ヶ島キャンプ場」、「コンヤの里レクリエーション施設」、桜園、梅園、公衆トイレを整備	静岡市
梅ヶ島金山温泉	親水公園「魚魚の里」を整備	静岡市
	温泉浴場、温泉プール、バーベキューコーナー、スポーツ施設、貸別荘を整備	民間事業者



梅ヶ島温泉



梅ヶ島温泉源泉



紅葉時期の黄金の湯

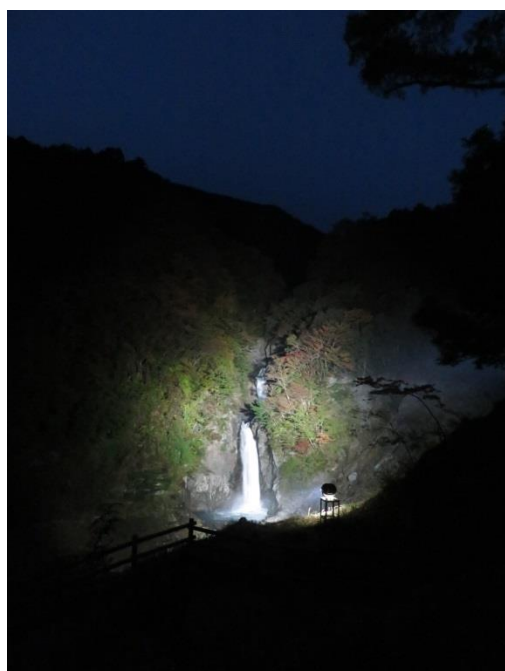


コンヤの里の紅葉

②イベント等

梅ヶ島温泉郷の利用促進のため、現在行っているイベント等の状況は、以下のとおりである。

実施日	名称	場所	備考
3月第1日曜日	アマゴ・マス釣り大会	梅ヶ島六本木付近	一本針のエサ釣り
3月初旬	初午祭	新田公会堂	市指定無形民俗文化財
3月第3日曜日	梅まつり	梅ヶ島コンヤ温泉 梅園	梅ヶ島太鼓 他
4月第2日曜日	春まつり	梅ヶ島コンヤ温泉 桜園	梅ヶ島太鼓 他
4月下旬	新緑まつり	梅ヶ島温泉 おゆのふるさと公園	
5月上旬	黄金まつり	梅ヶ島新田温泉 黄金の里	
夏休み期間中	カブトムシ大相撲 梅ヶ島場所	赤水公園 魚魚の里	H25～
8月中旬	夏祭り	梅ヶ島温泉郷内	盆踊り、花火大会
10月最終日曜日	温泉まつり	梅ヶ島温泉 おゆのふるさと公園	
10～11月	紅葉まつり	梅ヶ島温泉郷内	各温泉地
11月	赤水の滝 ライトアップ	赤水公園	H28～



赤水の滝ライトアップ

(3) 今後の取組方策

梅ヶ島温泉郷において、さらに温泉の公共的利用の増進を図るため、温泉の適正な利用を進めるとともに、自然環境の保全、環境配慮に努めながら、良好な景観を創設し、「信玄公の隠し湯」以来の湯治場としての温泉療養機能に加え、スポーツや食による新たな元気回復、健康の保持増進といった健康づくりの場としての機能を加え、それらを統合した温泉地としてヘルスツーリズムの推進を目指していく。

そのためには、実施主体と調整のうえ、(2)の取り組みを継続するとともに、ハード整備はもとより、健康長寿に向けたソフト面の整備として以下の取り組みを進める。

温泉地	取組	実施主体
梅ヶ島温泉郷全域	温泉入浴指導員を育成し、各温泉に配置する。	梅ヶ島温泉郷の未来を考える会
	地域の自然食材を活かした健康食を開発する。	梅ヶ島温泉郷の未来を考える会
	区内の自治会の「連動」による美しい景観づくりに取り組む。	梅ヶ島学区自治会連合会
	森林浴・滝めぐり等のマイナスイオン満喫プログラムを策定する。	梅ヶ島温泉郷の未来を考える会
	金山等のガイダンスの充実による歴史文化探求プログラムを策定する。	梅ヶ島温泉郷の未来を考える会
	溪流、ワサビ田、茶畑等特色ある景観を活用した体験プログラムを作成する。	梅ヶ島温泉郷の未来を考える会
	事業者の健康経営推進のため、プレミアムフライデーを活かした元気回復プランを開発する。	梅ヶ島温泉郷の未来を考える会
	インバウンド誘致に向けて、ホームページ等情報発信ツールの多言語化を進める。	梅ヶ島温泉郷の未来を考える会、静岡観光コンベンション協会、静岡市
	インバウンド誘致に向けて、Wi-Fi環境の整備を進める。	梅ヶ島温泉郷の未来を考える会、静岡市
アクセシビリティの向上に向けて、温泉地内の道路及びアクセス道路を快適に利用できるよう、計画的な維持管理を継続的に行い、狹隘区間の道路拡幅や防災対策を進めるとともに道路情報板の整備やスマホアプリの開発等 ITC の利活用により、積極的に道路交通情報の発信を行う。	静岡市	

8. 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画

(1) 公共の用に供する施設の状況

梅ヶ島温泉郷における公共の用に供する施設の状況は、以下のとおりである。

温泉地	区分	施設
梅ヶ島温泉	公有施設	道路 駐車場・公衆便所 おゆのふるさと公園
	民有施設	宿泊施設（11施設） 公衆浴場（1施設）
梅ヶ島新田温泉	公有施設	道路 駐車場・公衆トイレ 公衆浴場（黄金の湯） グラウンドゴルフ場
	民有施設	宿泊施設（1施設） 公衆浴場（1施設）
コンヤ温泉	公有施設	道路 駐車場・公衆便所 キャンプ場（梅ヶ島キャンプ場） テニスコート（梅ヶ島コンヤの里レクリエーション施設）
	民有施設	宿泊施設（3施設）
梅ヶ島金山温泉	公有施設	日影沢親水園（魚魚の里）
	民有施設	宿泊施設（1施設） スポーツ施設

(2) 取組の現状

梅ヶ島温泉郷において、高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりのために講じている取組の状況は、以下のとおりである。

温泉地	区分	施設	取組	実施主体
梅ヶ島温泉郷 全域	公共施設	道路	温泉地内の道路及び温泉地までのアクセス道路の適切な維持管理を行っている。	静岡市
	民有施設	建築物	各施設において、施設改修時にスロープ、手すりなどの整備を進めている。	民間事業者

(3) 今後の取組方策

梅ヶ島温泉郷において、さらに高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりを図るため、実施主体と調整の上、(2)の取組を継続するとともに、それらに加え、以下の取組を進める。

温泉地	区分	施設	取組	実施主体
梅ヶ島温泉郷 全域	公共施設	道路	温泉地内の道路について、整備を行う際には高齢者、障がい者等に配慮した構造とするよう検討する。	静岡市
	民有施設	建築物	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設において、スロープ、手すり、多目的トイレの整備など更なるバリアフリー化を検討する。 ・外国人への対応を考慮して、案内表示の多言語化を検討する。 	民間事業者

9. 災害防止対策に係る計画及び措置

(1) 温泉地の地勢及び災害の発生状況

梅ヶ島温泉郷は、安倍川上流部に位置し、大谷嶺（1,999.7m）、八紘嶺（1,854m）や十枚山（1,762m）など周囲を山に囲まれている。大谷嶺には日本三大崩れの一つとされる大谷崩れが存在するなど、崩壊地の数も多く、たびたび土砂災害が発生してきた。中でも昭和41年9月には台風26号の影響により梅ヶ島温泉地域で土石流が発生し、旅館など9戸が全壊する被害が発生している。平成28年はこの災害からちょうど50年の節目を迎えた。この節目を契機として忘れかけた記憶を思い起こし、災害の実態を再認識するとともに、教訓を後世に継承し、今後も地域とともに土砂災害に備えた地域づくりを進める取り組みが官民連携して始まったところである。

近年は治山、砂防工事が進み、大規模な災害は発生していないが、土砂崩れによる孤立や、停電などが時折発生している。なお、梅ヶ島地区の降雪はそれほど多くなく、雪崩による大きな災害は発生していない。

(2) 計画及び措置の現状

梅ヶ島温泉郷において、現在、災害防止に関し策定している計画及び講じられている措置は、以下のとおりである。

温泉地	計画又は措置	計画又は措置の概要
梅ヶ島温泉郷 全域	土砂災害警戒区域64箇所 の指定 (静岡県)	「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき、平成25年静岡県告示第319・329号にて急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）43箇所、土石流21箇所、計67箇所を指定。

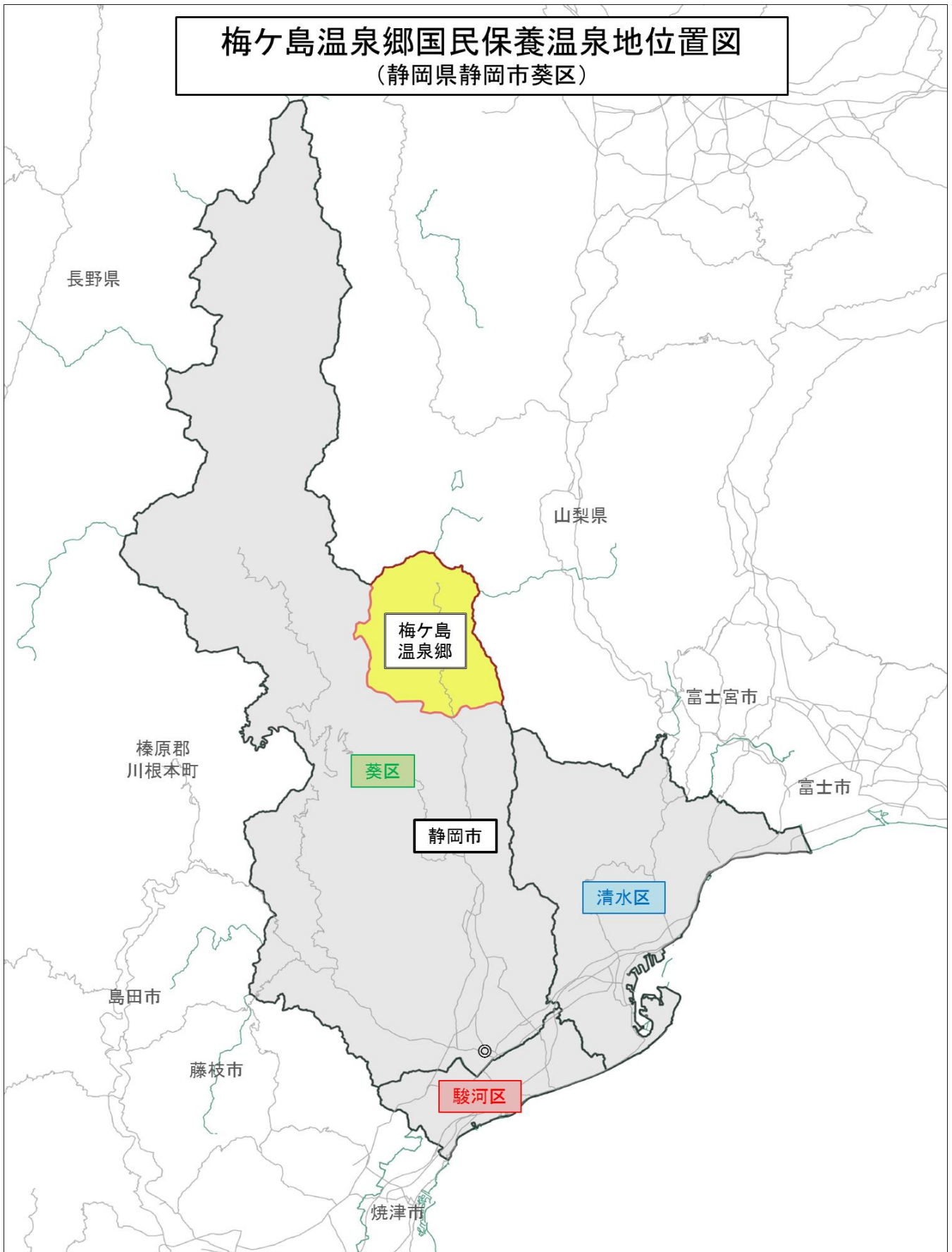
	急傾斜地崩壊危険区域の指定 (静岡県)	「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づき、平成 22 年静岡県告示第 33 号にて梅ヶ島関ノ沢を指定。
	砂防指定地の指定 (国)	「砂防法」に基づき、明治 42 年内務省告示第 159 号にて面指定。
	地域防災計画 (静岡市)	警戒避難体制に関する事項を策定。 静岡市では、避難所として「梅ヶ島小学校、梅ヶ島中学校、梅ヶ島生涯学習交流館」の 3 箇所などのほか、一次避難地やヘリポートなどを指定している。また、「静岡市防災マップ」に県が指定した土砂災害警戒区域の情報を盛り込んでいる。
	自主防災組織の強化	地域全体にそれぞれの町内会を主体とした自主防災組織が存在し、訓練等を行っている。

(3) 今後の取組方策

梅ヶ島温泉郷において、さらに災害の防止を図るため、実施主体と調整の上、(2)の計画及び措置に基づく取組を継続するとともに、それらに加え、以下の取組を進める。

温泉地	取 組	実施主体
梅ヶ島温泉郷全域	各施設における災害時の避難誘導計画を策定する。	各事業者
	旅館等観光施設の安全を確保するため、施設の耐震化に向けた取組を検討する。	各事業者

梅ヶ島温泉郷国民保養温泉地位置図
(静岡県静岡市葵区)



梅ヶ島温泉郷区域図

